

募集専修部門の主な研究内容及び特修科目等

《応用数学専攻 博士課程前期》

令和6年度4月入学生を募集する専修部門と主指導教員及び主な研究内容

専修部門	主指導教員	主な研究内容
代 数 学	教授 博士(理学) 佐藤 拓	代数幾何学
	教授 博士(数理学) 島倉 裕樹	有限群論
位 相 数 学	准教授 博士(数理学) 宮内 敏行	代数的位相幾何学
	教授 Ph.D 石黒 賢士	ホモトピー論
幾 何 学	教授 博士(理学) 佐野 友二	微分幾何学
解 析 学	准教授 博士(理学) 坂田 繁洋	凸関数と凸体の解析学と幾何学
応用解析学	教授 博士(理学) 田中 尚人	微分方程式論
統 計 数 理	教授 博士(理学) 桑江 一洋	確率論
	准教授 博士(理学) 天羽 隆史	確率解析
情 報 数 理	教授 博士(工学) 藤木 淳	コンピュータビジョン
	教授 理学博士 白石 修二	並列計算理論
	准教授 博士(理学) 一木 輝久	統計力学・確率過程・機械学習

授業科目, 単位, 担当者及び履修方法, 主な研究内容 (令和5年度現在)

※令和5年度開講科目は, シラバス(授業内容含む)をWebで公開しております。「電子シラバス 福岡大学」で検索の上, 参照ください。

主要科目

専修部門	授 業 科 目	単位数	担 当 者	主 な 研 究 内 容
代 数 学	代 数 学 講 究 I	4	教 授 博 士(理 学) 佐 藤 拓	代 数 幾 何 学
	代 数 学 講 究 II	8	教 授 博 士(数 理 学) 島 倉 裕 樹	有 限 群 論
位 相 数 学	位 相 数 学 講 究 I	4	教 授 Ph.D 石 黒 賢 士	ホ モ ト ピ ー 論
	位 相 数 学 講 究 II	8	准 教 授 博 士(数 理 学) 宮 内 敏 行	代 数 的 位 相 幾 何 学
幾 何 学	幾 何 学 講 究 I	4	教 授 博 士(理 学) 佐 野 友 二	微 分 幾 何 学
	幾 何 学 講 究 II	8	教 授 博 士(理 学) 成 瀬 慶 明	大 域 解 析 学
解 析 学	関 数 解 析 学 講 究 I	4	准 教 授 博 士(理 学) 坂 田 繁 洋	凸 関 数 と 凸 体 の 解 析 学 と 幾 何 学
	関 数 解 析 学 講 究 II	8		
	複 素 解 析 学 講 究 I	4	未 定	—
	複 素 解 析 学 講 究 II	8		
応 用 解 析 学	応 用 解 析 学 講 究 I	4	教 授 博 士(理 学) 仙 葉 隆	非 線 形 解 析
	応 用 解 析 学 講 究 II	8	教 授 博 士(理 学) 田 中 尚 人	微 分 方 程 式 論
統 計 数 理	統 計 数 理 講 究 I	4	教 授 博 士(理 学) 桑 江 一 洋	測 度 論 と 確 率 解 析
	統 計 数 理 講 究 II	8	准 教 授 博 士(理 学) 天 羽 隆 史	数 理 フ ァ イ ナ ン ス と 確 率 解 析
情 報 数 理	情 報 数 理 講 究 I	4	教 授 博 士(工 学) 藤 木 淳	コ ン プ ュ ー タ ビ ジ ョ ン
	情 報 数 理 講 究 II	8		
	情 報 シ ス テ ム 講 究 I	4	教 授 理 学 博 士 白 石 修 二	並 列 計 算 理 論
	情 報 シ ス テ ム 講 究 II	8	准 教 授 博 士(理 学) 一 木 輝 久	統 計 力 学 ・ 確 率 過 程 ・ 機 械 学 習

特修科目

部 門	授 業 科 目	単位数	部 門	授 業 科 目	単位数
非 専 修	代 数 学 特 論 I	2	非 専 修	現 代 代 数 学 入 門 I	2
	代 数 学 特 論 II	2		現 代 代 数 学 入 門 II	2
	代 数 構 造 特 論 I	2		現 代 位 相 数 学 入 門	2
	代 数 構 造 特 論 II	2		現 代 幾 何 学 入 門 I	2
	位 相 数 学 特 論 I	2		現 代 幾 何 学 入 門 II	2
	位 相 数 学 特 論 II	2		現 代 解 析 学 入 門 I	2
	代 数 トポロジ ー 特 論 I	2		現 代 解 析 学 入 門 II	2
	代 数 トポロジ ー 特 論 II	2		情 報 科 学 入 門	2
	幾 何 学 特 論 I	2		代 数 学 特 別 講 義 I	2
	幾 何 学 特 論 II	2		代 数 学 特 別 講 義 II	2
	多 様 体 特 論 I	2		位 相 数 学 特 別 講 義 I	2
	多 様 体 特 論 II	2		位 相 数 学 特 別 講 義 II	2
	関 数 解 析 学 特 論 I	2		幾 何 学 特 別 講 義 I	2
	関 数 解 析 学 特 論 II	2		幾 何 学 特 別 講 義 II	2
	複 素 解 析 学 特 論 I	2		解 析 学 特 別 講 義 I	2
	複 素 解 析 学 特 論 II	2		解 析 学 特 別 講 義 II	2
	偏 微 分 方 程 式 特 論 I	2		応 用 解 析 学 特 別 講 義 I	2
	偏 微 分 方 程 式 特 論 II	2		応 用 解 析 学 特 別 講 義 II	2
	非 線 形 解 析 特 論 I	2		統 計 数 理 特 別 講 義 I	2
	非 線 形 解 析 特 論 II	2		統 計 数 理 特 別 講 義 II	2
統 計 数 理 特 論 I	2	情 報 数 理 特 別 講 義 I	2		
統 計 数 理 特 論 II	2	情 報 数 理 特 別 講 義 II	2		
情 報 数 理 特 論 I	2	情 報 シ ス テ ム 特 別 講 義 I	2		
情 報 数 理 特 論 II	2	情 報 シ ス テ ム 特 別 講 義 II	2		
情 報 シ ス テ ム 特 論 I	2				
情 報 シ ス テ ム 特 論 II	2				

- 1 学生は、主要科目のうちから1専修部門を選定し、そのうちの一つの講究（I・II）を選択して、これをその学生の専修科目とする。
- 2 学生は、専修科目担当者のうちの1人を主指導教員とし、専修科目及び専修科目以外の科目の選定並びに学位論文の作成、その他研究一般についてその指導を受けるものとする。
- 3 前項のほか、学生は、主指導教員が定めた副指導教員の指導も受けるものとする。
- 4 学生の標準修業年限は2年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得しなければならない。
- 5 前項の30単位以上は、専修科目12単位及び特修科目18単位以上とし、主指導教員が必要と認めた場合、他の専攻又は研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。
- 6 学生は、主指導教員を主査として、専修科目について修士の学位論文を提出し、論文審査及び最終試験に合格しなければならない。